

西大和つうしん

2024年7・8月号

No.480



岩が重なり、迫力のある天狗岩《2024.5.5》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第480号 (2024年7・8号)

【目 次】

7月度山行計画	1
8月度山行計画	2
7・8月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・例会山行1 《5/5》 湖南の山 金勝アルプス (玉野)	5
・自主山行 《5/12~15》 佐渡の山 金北山~芝尻山 (杉村・岡嶋八・岡嶋吉)	6
・自主山行 《5/14~17》 佐渡の山 尻立山~金北山 (岩田・佐伯)	7
・例会山行2 《5/26》 布引山地 霊山 (岡嶋吉)	9
・例会山行1 《6/2》 金剛山地 葛城山 (岩崎)	10
・自主山行 《6/2~7》 九州の山 由布岳・平治岳・久住山・阿蘇中岳 (佐伯・岩田・島崎)	12
・自主山行 《6/14》 高見山地 学能堂山 (佐伯)	14
・例会山行2 《6/16》 大峰山脈 大普賢岳 (前田良)	15
2024年度第2回運営委員会議事録	17

7 月 度 山 行 計 画

~金剛山の沢コースを歩き、暑さをしのぎましょう!~

体験山行対象

例会山行1 金剛山地 **《金剛山 1,125m》**

【日 程】7月7日 (日) (L島崎)

※ 参加者はリーダーまで申込み (6月23日締切り)

【集 合】上牧町役場前駐車場 6:30

【コース】水越峠付近駐車場 7:30~金剛水~(紅葉谷沢コース)~葛木神社(昼食タイム)~
(紅葉谷沢コース)~金剛水~水越峠付近駐車場 14:30 頃

※ 歩行時間: 約5時間 (休憩含む)

※ 本山行は、体験山行の対象です。

但し、一般の体験山行者の参加は、先着5名までとします。

※ お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お早めにお誘いください。

～オオヤマレンゲに会いに、関西最高峰に登りましょう！！～
雨天中止の昨年のリベンジ山行！

例会山行2 大峰山脈 《**弥山 1,895m～八経ヶ岳 1,915m**》

【日 程】7月14日（日）（L亀高）

※ 参加者はリーダーまで申込み（6月30日締切り）

【集 合】上牧町役場前駐車場 6:00

【コース】行者還トンネル西口P(8:00)～奥駈出合(9:10)～弁天ノ森(9:40)～聖宝ノ宿跡(10:10)～弥山小屋(11:25)～弥山(山頂 11:35/40)～弥山小屋(11:45/12:45 昼食)～八経ヶ岳(12:45)～弥山小屋(13:15)～聖宝ノ宿跡(13:55)～弁天ノ森(14:25)～奥駈出合(14:45)～行者還トンネル西口P(15:55)

※ 歩行時間：約8時間（休憩含む） ※ 歩行距離：約10km

～日本庭園を思わせる美しい湿地帯！～

展望の良いオウム岩が魅力のリトル比良を歩きましょう！！

例会山行2 比良山地 《**岩阿沙梨山 686m**》

【日 程】7月21日（日）（L上田）

※ 参加者はリーダーまで申込み（7月7日締切り）

【集 合】①上牧町役場前駐車場 6:00 又は ②北小松駅 8:00(JR京都発 7:00～北小松着 7:42)

【コース】北小松駅前駐車場～(30)～楊梅の滝～(45)～涼峠分岐～(45)～寒風峠～(45)～滝山分岐～(60)～岩阿沙梨山～(45)～鳥越峠～(40)～岳山～(25)～観音堂～(60)～大炊神社～(20)～近江高島駅～(湖西線)～北小松駅下車

※ 歩行時間：約7時間（休憩含まず） ※ 歩行距離：約13km

8 月 度 山 行 計 画

～北極星信仰の聖地！～

体験山行対象

例会山行1 北摂の山 《**妙見山 660m**》

【日 程】8月25日（日）（L玉野）

※ 参加者はリーダーまで申込み（8月11日締切り）

【集 合】JR王寺駅 7:05 または 能勢電・妙見口駅 9:10

【交 通】王寺 7:16⇒7:52 大阪／阪急梅田 8:01⇒8:28 川西能勢口 8:34⇒8:50 山下 8:53⇒9:01 妙見口

【コース】（上り下りとも前日までの雨量でコース変更あり）

上り 上杉尾根コース 下り 初谷溪谷コース

※ 歩行時間：約4時間（休憩含まず）

※ 本山行は、体験山行の対象です。

但し、一般の体験山行者の参加は、先着5名までとします。

※ お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お早めにお誘いください。

西大和山の会 カレンダー

7 月			8 月		
1	月		1	木	
2	火	県連理事会	2	金	
3	水		3	土	
4	木		4	日	
5	金		5	月	
6	土		6	火	県連理事会
7	日	例会山行1《金剛山》(島崎)	7	水	
8	月		8	木	
9	火		9	金	
10	水		10	土	
11	木		11	日	
12	金		12	月	
13	土		13	火	
14	日	例会山行2《弥山～八経ヶ岳》(亀高)	14	水	
15	月		15	木	
16	火		16	金	
17	水		17	土	
18	木		18	日	
19	金		19	月	
20	土		20	火	
21	日	例会山行2《岩阿沙利山》(上田)	21	水	
22	月		22	木	
23	火		23	金	
24	水		24	土	西大和つうしん原稿締切
25	木		25	日	例会山行1《妙見山》(玉野)
26	金		26	月	
27	土		27	火	
28	日		28	水	
29	月		29	木	
30	火		30	金	
31	水		31	土	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	9/1 室内例会 暑気払い	7/7 例会1	7/14 例会2	7/21 例会2	8/25 例会1		
			金剛山	弥山～ 八経ヶ岳	岩阿沙利山	妙見山		
1	都築							
2	藤井							
3	島崎		LO					
4	村田							
5	勝尾							
6	杉村							
7	橋本							
8	亀高			LO				
9	野路							
10	杉森英二							
11	上田				LO			
12	永井							
13	岩田							
14	佐々木							
15	玉野					LO		
16	前田昌信							
17	岩崎							
18	岡嶋吉男							
19	岡嶋八重子							
20	中尾							
21	杉森純子							
22	佐伯							
23	中野							
24	鈴木							
25	前田良作							
26	田中							
	一般参加者							
合計								
緊急連絡先								
HP 編集者			橋本	亀高	永井	橋本		

L:リーダー、○:参加、◎:車

※山行参加の回答は、リーダーに山行2週間前までにお知らせください。

※HPの会員の広場に掲載している「山行リーダーのための例会山行までの流れ」を参照して下さい。

山行報告

例会山行1 湖南の山 金勝アルプス

(鶏冠山 491m～竜王山 604m)

【日 程】 5月5日 (日) 晴れ

【参加者】 L 藤井・S L 島崎・S L 橋本・杉村・亀高・杉森英・永井・岩田・佐々木・玉野・岩崎・岡嶋吉・岡嶋八・鈴木 (会員14名・一般1名 合計15名)

【コースタイム】 駐車場(8:35)～落ヶ滝(9:11)～鶏冠山分岐(9:58)～鶏冠山(10:18/27)～鶏冠山分岐(10:45/11:16 昼食)～天狗岩(12:05/24)～耳岩(12:35)～白石峰(12:55)～竜王山(13:12)～白石峰(13:33)～狛坂摩崖仏(13:54)～出合(14:16)～逆さ観音(14:58)～キャンプ場(15:08)～駐車場(15:20)

金勝アルプス！行ってみたい場所でした。

登山口から入るとシダをかき分け、渡渉を何度も繰り返し落ヶ滝を目指す。そこでマイナスイオンをたっぷり浴びた後、鶏冠山山頂までは急登で息が切れた。鶏冠山を降りた分岐点でお昼休憩。コースは変化に富んでいて天狗岩からの眺めは絶景だった！！

岩場、鎖場、ロープ、渡渉、遺跡巡りとアドベンチャー感満載のコースでした。最後の南谷林道の所では、涼しげな色のタツナミソウやヤマフジも咲いていて、疲れた身体を癒してくれました。(記：玉野和恵)



自主山行

佐渡の山 金北山 1,172m～芝尻山 882m

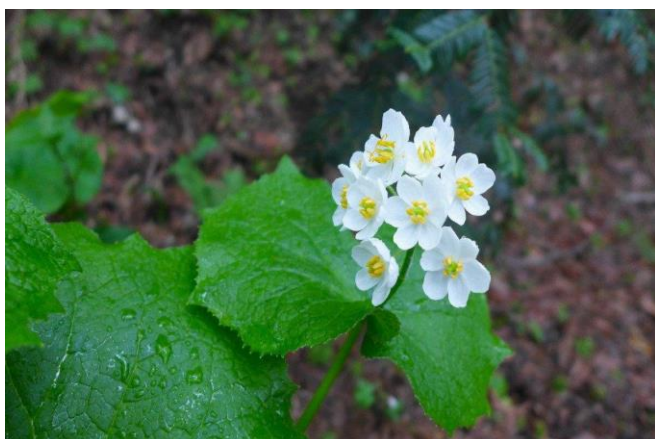
【日 程】5月12日(日)～5月15日(水)

【参加者】L 島崎・杉村・岡嶋吉・岡嶋ハ(4名)

5月12日(日) 曇り後小雨 アオネバ登山口からドンデン山荘へ

【日 程】伊丹空港 8:40⇒9:40 新潟空港、新潟港 11:30⇒12:37 両津港⇒(タクシー)⇒アオネバ登山口(13:30/45)～アオネバ十字路(15:30)～ドンデン山荘(16:00)

せっかく海を渡ってきたので佐渡の山や花の大パノラマを期待して歩き始めましたが、早々にアオネバ登山口で下山してこられた地元の登山者に「お花はあまり咲いてないですよ」の言葉に、えっ！そんなことはない！下調べでは驚くような花ロードと絶景が待っていると書かれていたのに・・・でも山荘に着くまでの2時間半、途中から種類豊富な高山植物が見えだし、「あっちにもカタクリが咲いている～、こっちにもシラネアオイが・・・」綺麗な色の花、小さくてかわいい花の多さに見とれて小雨が降り出していたのも殆ど気にならず、あっという間にアオネバ十字路に出る。みんなまだまだ元気でドンデン山荘に着きました。(記：杉村好子)



5月14日(火) 快晴 ドンデン山荘～金北山～白雲台登山口へ

【コ-タイム】旅館きらく 7:20⇒(タクシー)⇒ドンデン山荘(8:00)～マトネ(笠峰)(9:08)～石花越分岐点(9:28)～天狗の休場(11:27)～役の行者(12:20)～鏡池(12:42)～金北山山頂(13:05/44)～白雲台登山口(15:25)

当初計画では二日目であった登山予定を翌日に変更。

天気が回復した三日目、雲一つない青空の下、金北山への縦走コースを歩きました。新緑の輝く林の中では、足元にカタクリが咲き乱れ、その隙間を縫うように様々な花が顔をのぞかせていました。また展望のきく尾根道では、山々の連なりの左右に日本海が見え隠れする、圧巻の展望が広がる景色を堪能しながら金北山に登頂して、真っ青な海を見ながらの昼食休憩です。

山頂には金北山神社が祀られています。すぐ隣には昔米軍が作った軍事施設がありました。もう少し下には自衛隊の施設もあるな



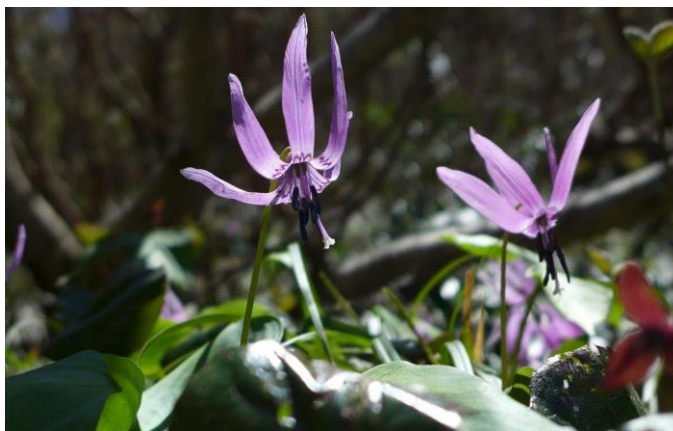
ど、下りのコースでは花の山とは別の顔も見ることができました。7時間半（休憩含む）のロングトレイルでしたが、時間を忘れて楽しく歩き通しました。（記：岡嶋八重子）

5月15日（水）晴れ ドンデン山荘～芝尻山～ドンデン山荘へ

【コースタイム】 旅館きらく 7:20⇒(タクシー)⇒ドンデン山荘(8:10)～尻立山(8:28)～論天山(9:03)～芝尻山(9:32)～折り返し地点(10:00)～ドンデン山荘(12:48)⇒(タクシー)⇒両津港(14:35)⇒新潟港(15:42)⇒(タクシー)⇒新潟空港(17:35)⇒伊丹空港(18:45)

今朝も旅館「きらく」から青空の下、加茂湖越しにこれから行く大佐渡山地が見えます。

最終日もドピーカン。4日目はドンデン山荘から金剛山に向けて出発します。尻立山(940m)へは一登り。ドンデン池に下ってまた登り返して論天山(873m)に到着。草原状のこの辺りにはツツジやスミレ、キジムシロなどが咲いています。アップダウンを繰り返して芝尻山(882m)へ到着。ここから急斜面を下って樹林帯に入ると、カタクリ、



キクザキイチゲなどが足元を飾るカタクリロードが始まります。昨日に続いて、本当にスゴイ、キレイの一言でした。またミスミソウ、アマナなど今回初めて出会えた花もあり、佐渡での最後の花を満喫して小芝園付近で時間切れ、ドンデン山荘に引き返しました。

下山後、予定通りに両津港からジェットフォイル、新潟空港から飛行機と乗り継いで、無事に山行を終える事が出来ました。

小雨交じりの中、しっかりと花を愛でながらスタートした佐渡山行、雨の日には佐渡を代表する金山とトキ保護センター観光、そして青空の下での花と展望を楽しんだ2日間、盛りだくさんで楽しい4日間でした。

（記：岡嶋吉男）



自主山行 佐渡の山 尻立山 940m～金北山 1,172m

【日程】 5月14日（火）～5月17日（金）

【参加者】 L 中尾・SL 上田・藤井・岩田・佐々木・玉野・佐伯（7名）

5月15日(水) 晴れ ドンデン山荘～尻立山～ドンデン山荘へ

【コース】アオネバ登山口(12:15)～アオネバ十字路(14:10)～金北山縦走路入口(14:40)～椿越峠(15:30)～尻立山(15:55)～ドンデン山荘(16:15)

高速バス、電車、船、車を乗り継ぎアオネバ登山口より登る。1日目、天候にも恵まれ、まさに花の登山道で様々な山野草が一斉に咲き誇る。写真を撮り名前を確かめながら行く。感激の連続で中々足が進まないが、中でもシラネアオイ、サンカヨウ、キクザキイチゲ、ミズバショウが見ることができ感激した。一度にこれだけたくさんの種類の花を見るのは初めてだ。尻立山の山頂からは日本海、佐渡のくびれ部分の田園風景を望むことができ、佐渡ヶ島に来た事を実感する。海の向こうには越後の山々が薄っすら見え展望を楽しんだ。

ドンデン山荘は食事も美味しく、きれいなお風呂、暖かなお布団がありがたかった。

(記：岩田礼子)



5月16日(木) 曇り後晴れ ドンデン山荘～金北山～白雲台登山口へ

【コース】ドンデン山荘(4:35)～マトネ(5:40/49)～真砂の峰(6:42/55)～あやめ池(8:36/42)～金北山(9:04/39)～白雲台(11:17)

2日目、8時出発の予定だったが、前日の天気予報で午後から雨や雷の予報が出たため、4時30分に変更した。オレンジ色の朝焼けが見えたドンデン山荘をスタートし、金北山へと向かった。登り始めは小雨がばらつき心配したがすぐに止み、天候は回復した。最初は曇り空だったが、短い虹が出て、その後真っ青な青空となり、空の変化を楽しみながら進んだ。

急登や厳しい下りが多々あったが、右に外海、左に内海が見える稜線歩きは素晴らしかった。そして、まだ残っていた雪渓歩きも楽しむことが出来た。また、昨日は、ヒトリシズカ・サンカヨウ・オドリコソウ・エン



レイソウ・ニリンソウなど多くの花々に出会い、その美しさを堪能したが、本日も沢山の花との出会いがあり、感動を新たにした。特に、イワカガミ・シラネアオイ・カタクリの群生が多くの場所で迎えてくれて、その可憐な美しさに感動し、励まされながら進むことが出来た。

「花の百名山」を実感した山行だった。

(記：佐伯博子)



例会山行2 (地図読み山行) 布引山地 霊山 765.5m

【日 程】5月26日(日) 晴れ

【参加者】L 上田・SL 中尾・橋本・亀高・岩田・佐々木・玉野・岡嶋吉・佐伯・中野(10名)

【コースタイム】霊山寺登山口(8:25)～分岐(9:30)～霊山南峰(10:05)～ロープワーク実習(10:25/11:45)～田代湖(12:20/46 昼食)～霊山山頂(13:40/53)～霊山寺登山口(14:44) / ツエルト実習、エマージェンシーキット検討

今回は、山行時の様々な状況に対応できる力を身につける山行。いつもはスマホのアプリで位置確認をしているが、メンバー皆で地図とコンパスを手手に現在位置確認と、分岐では目的の方位を確認して進路を決定する地図読みを実習。霊山南峰付近で N 講師によるスリングを使ってのチェストハーネス作り、そして木にロープを張ってのトラバース実演。ロープワークではエイトノット、ブルージック、もやい結びなどのレクチャーを受けた。

田代湖に下りて昼食。その後、霊山山頂に登り返して登山口の霊山寺に下山。

駐車場でツエルトの張り方の確認やビバーク体験、そして最後は携行すべきエマージェンシー・エイドキットの内容についての検討も行い、ヘッドライト、雨具、非常食は当たり前前の装備であるが、N 講師から遭難した時に持っておきたい装備として、ホイッスル、エマージェンシート、ライター、ナイフ、細紐、予備バッテリー、ピンクテープ、手鏡(発煙灯)などの提案があった。

ルート確認、急斜面・岩場での転倒や滑落防止、安全な登山に向けての知識と技術を身につけて、様々な状況に出あった時でも冷静に対応できるようにしたい。

余談であるが、霊山山頂手前で墜落したと思われるハンググライダーが杉林の中で引っかかっていた。搭乗者は脱出した後で影も形(残地の荷物や血痕など)も無かった。墜落し地上数



メートルの高さで木に引っかかるという事態でも対処方法を身につけていて、なんとかくぐり抜ける事ができたのであろうか？

極カリスクを最小化し、無事に家に帰り着く事が大切である。

(記：岡嶋吉男)



例会山行1 (県連主催グリーンハイク) 金剛山地 葛城山 959.2m

【日 程】6月2日(日) 雨後曇り

【参加者】L 杉森・SL 上田・杉村・亀高・野路・永井・岩崎
(会員7名・一般3名 合計10名)

【コース】葛城山駐車場(9:36)～(北尾根コース)～ダイトレ分岐(11:28)～自然研究路分岐(11:35)～葛城山山頂(12:20)～ツツジ園(12:30/13:00 昼食)～(櫛羅の滝コース)～葛城山駐車場(14:57)

会員7名一般参加3名、計10名でグリーンハイクに参加。北尾根コースから登り檜羅の滝コースを下山のゴミ拾い。

曇り空の中、軍手を装着、トンゴとビニール袋を持ちいざ出発。北尾根コースの途中から雨が降りだし雨具装着。雨も1時間ぐらいで止みゴミ拾いに集中できた。自然研究路分岐からより多くのゴミを回収する目的で2班に別れた。ペアを組み1人は右側、もう1人は左側を担当し、より多くのゴミを拾える工夫も行った。その後ダイトレ分岐で合流。葛城山山頂を通りツツジ園のテラスで昼食。

檜羅の滝コースを下山途中、約7キロの大きなマンホールの蓋や一升瓶を見つける。駐車場でゴミの分別を行う。今回もゴミはゼロではなく、ペットボトル、缶、落とし物（タオル、手袋、靴底など）、靴底の落とし物はどのようにして帰られたのであろうと想像する。私達ハイカーはモラルに欠けないよう山登りするよう心がけたい。（記：岩崎美都里）

※ゴミの量：缶類 1 kg、瓶・ガラス類 1.8 kg、ペットボトル 1 kg、燃えるゴミ 7.2 kg
鉄 10 kg 合計 21 kg



自主山行 九重連峰・阿蘇連山

由布岳／平治岳／中岳～久住山／阿蘇中岳

(1,583.3 m) (1,642.8m) (1,791m) (1,786.5m) (1,506 m)

【日 程】6月2日(日)～6月7日(金)

【参加者】L 島崎・岩田・佐伯(3名)

6月3日(月) 晴れ 由布岳正面登山口から由布岳へ:

【J-タイム】由布岳正面登山口(8:15)～西峰・豊後富士(10:45/11:00)～東峰(11:45/12:10)～由布岳正面登山口(14:40)

前夜はフェリーで快適に過ごし、元気に由布登山口へと向かいました。車窓からは、つづら折りあり、なだらかな高原地帯ありと起伏に富んだ緑豊かな九州の雄大な景色を楽しみました。

由布岳正面登山口から、鮮やかな緑に大きくそびえ立つ由布岳に向かって整備された道を進んで行きました。そこを過ぎると気持ちの良い光が差し込む樹林帯に入り、



歩きやすい道でした。マエタの分岐に着くと、西峰と東峰の双耳がそびえ立ち、慎重に登らなければと気持ちを新たにしました。

頂きは霧が出て眺望はあまり良くありませんでしたが、急登や鎖やロープを使う絶壁を体験し、怖さを感じましたが、達成感も大きなものでした。また、大きな岩に木々が根を張る大自然の風景にも圧倒されました。(記: 佐伯博子)

6月4日(火) 晴れ時々曇り 長者原ビジターセンターから平治岳へ

【J-タイム】長者原ビジターセンター(8:06)～雨ヶ池越(9:34)～坊ガツル(10:23)～大戸越(11:49)～平治岳(12:44)～大戸越(13:23)～北大船山(14:25)～坊ガツル(15:59)～法華院温泉山荘(16:15)

2日目、好天に恵まれタデ湿原からスタートした。林を抜け坊ガツルに着くと視界は広がり色とりどりのテントと急峻な峰峰は憧れの景色、どろどろで滑りそうな急登は我慢のしどころでした。大戸越で昼食を取り、目の前に広がるミヤマキリシマに感嘆の声が上がる。リーダー「平治岳はもっとすごいよ」期待が高まる。平治岳までミヤマキリシマロードに行く。「今年の花はとて綺麗」と耳にしなが、しんどさも吹っ飛び美しさ感動する。北大船山まで再び登り、ここまで来る人は少なく静かな久住連山の山々を楽しむことができた。法華院温泉まで一気に下る。長い距離を歩いた一日だったが、九州一のピンク色に染まる山々を堪能した。法華院温泉山荘では温泉に入り一日の疲れを癒すことができた。シーズン中なので大盛況だったが、個室がとれたのでホットした。リーダーに感謝します。(記: 岩田礼子)



6月5日(水) 晴れ 中岳から久住山へ

【J-タイム】 法華院温泉山荘(7:16)～鉾立峠(7:43)～白口岳(8:56/9:24)～稲星越(9:33)～中岳(10:7/37)～池ノ小屋避難小屋(10:44)～御池(10:58)～久住山(11:42/12:2)～諏峨守越(13:22)～長者原登山口(14:48)

前夜は法華院温泉につかり充分休養を取り、久住連山へと向かいました。テント場を過ぎると、少し急登となり泥水が流れる道となりましたが、鉾立峠までは歩きやすい道でした。鉾立峠では、美しい形をした白口岳が目の前にあり、かなり急登でしたが、頂上からの景色は素晴らしく坊ガツルを見渡すことも出来ました。また、九州本土の最高峰となる中岳からは久住の山々が360度見渡せ、遠くには前々日登った由布岳を望



むことが出来、由布岳登山の余韻に浸ると共に九州の広さを実感しました。そして、日本百名山のひとつ久住山へ。

登山道は岩石がゴロゴロしていて、どこに足を置こうかと迷いながら一歩一歩慎重に歩きました。苦勞して登った山頂からは素晴らしい景色を望むことが出来、最高の気分になりました。久住登山口までは、噴煙を上げる硫黄山など様々な山の変化を楽しみながら下山しました。(記：佐伯博子)

6月6日(木) 曇り後小雨 阿蘇山中岳

【J-タイム】 根子岳山荘(8:00)～仙酔峡登山口(8:50)～高岳・日ノ尾峠(11:20)～月見小屋付近(12:10/30 昼食)～中岳(13:00)～仙酔峡登山口(14:50)

4日目、阿蘇の裏側、仙酔峡登山口から仙酔尾根コースを登る。4日目の登山となるので、とにかく足が重い、ゆっくりとしか登れない。幸いに岩自体がセメントに張り付いた様に安定しているので、普通の岩場よりは登り易いか??

やっと高岳・日ノ尾峠の頂きに着いた。お鉢巡りの周辺にミヤマキリシマが咲いている。いよいよお鉢巡りを開始する。進むにつ



れミヤマキリシマのオンパレードである。見事としか言いようがない、最高だ!!下におりてしばし観賞しながらの昼食タイム。お鉢をめぐる中岳へ。中岳は噴煙をあげ、山容が一変する。

下りは注意しながら下山、途中からぱらついてきた。上着だけ雨具をして下山開始、とにかく足が疲れているのでゆっくりと下る。やっと登山口に無事着きました。(記：島崎隆)



自主山行 高見山地 学能堂山 1,021m

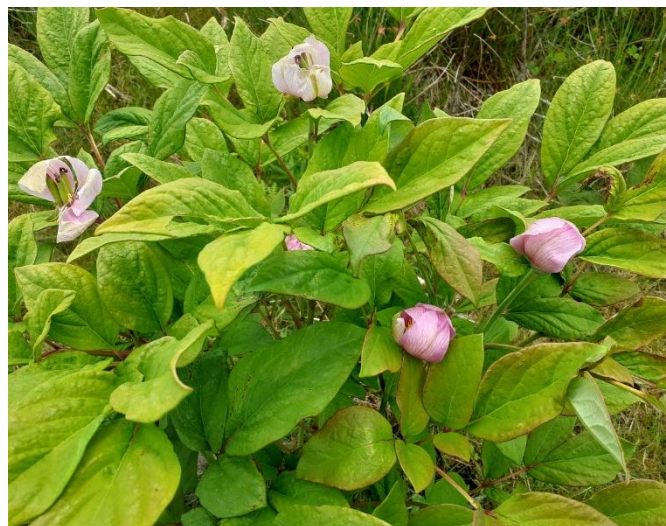
【日 程】 6月14日(金) 晴れ

【参加者】 L 中尾・上田・佐伯 (会員3名・会員外2名 合計5名)

【コースタイム】 伊勢地出張所前バス停(9:55)～石名原登山道入り口(12:02)～笹峠(12:31)～学能堂山(12:42/13:31)～笹峠(14:02)～杉平バス停(15:56)～伊勢地出張所前バス停(16:22)

6月13/14日の川上岳山行の予定でしたが、天気予報では天候が安定せず、前夜までリーダーが考えて下さり、良い予報となった14日に学能堂山山行となりました。

5人でベニバナヤマシャクヤクを求めて学能堂山山頂へと向かいました。登りは急な道でしたが群生した薄紫のコアジサイが疲れを癒やしてくれました。山頂には、もう終わっているのではないかと考えていたベニバナヤマシャクヤクがこちらに一輪、こちらに一輪と綺麗な花を咲かせていたので、皆で喜びながら写真に収めました。下山道では、まだ花が残るヒトリシズカやフタリシズカの群生場所がいくつもあり感動しました。来年は是非満開の時期に訪れたいと思った山行でした。
(記：佐伯博子)



例会山行2 大峰山脈 大普賢岳 1,780m

【日 程】6月16日(日) 曇り

【参加者】L 永井・SL 野路・橋本・亀高・杉森・岩崎・岡嶋吉・前田良(8名)

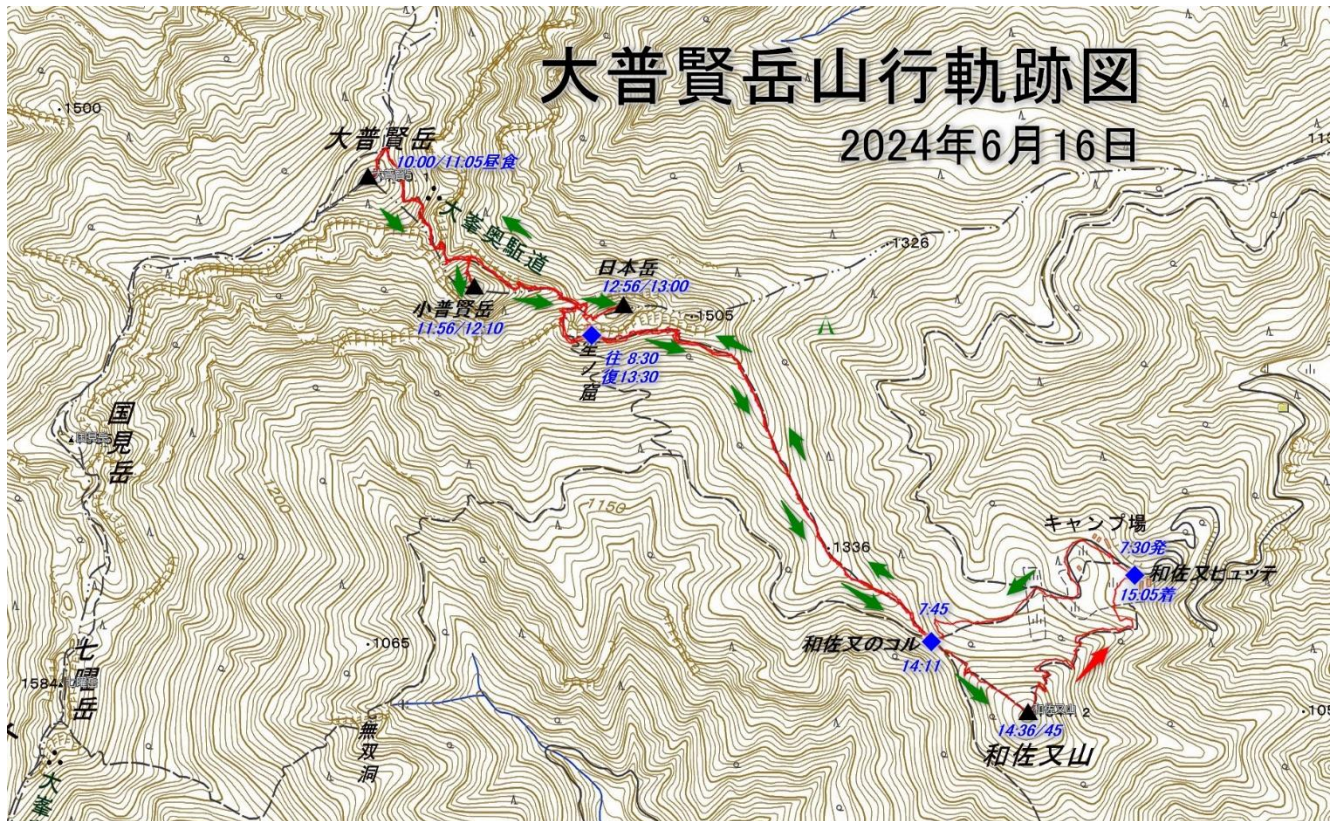
【コース】和佐又ヒュッテ(7:30)～和佐又の科尔(7:45)～笹ノ窟(8:30)～大普賢岳(10:00/11:05 昼食)～小普賢岳(11:56/12:10)～日本岳(12:56/13:00)～笹ノ窟(13:30)～和佐又の科尔(14:11)～和佐又山(14:36/45)～和佐又ヒュッテ(15:05)

和佐又ヒュッテの駐車場から8人で登山開始。すぐのところにトイレ。山のトイレにしてはきれいで気持ちが良い。半袖シャツの私には紫外線をきつく感じる雨上がり。花の散ったトチノキ。赤花と白花のハコネウツギ。見上げながら山道を行く。そこへ大きなヒキガエルが出迎えてくれた。林の中を登る。涼しい風を感じる。ブナやヒメシャラ、ハウチワカエデやモミの木など。みな高木の太木。そんな林を抜けるとクサリ場や鉄梯子。雨で濡れた岩場は滑りやすい。しっかりクサリを掴んで足場を確保。気が許せない。道は大きな壁岩の下を行く。指弾ノ窟、朝日窟、笹ノ窟と続く。昔々修験者たちはこれらの窟で雨宿りや寝泊まりをしたのであろうか。なんとなく気を感じる所だ。そんな絶壁の下を過ぎると日本岳の科尔に着く。ここから先の山道はほとんど鉄梯子。植生はシャクナゲやベニドウダンツツジまたシロヤシオが目につく。これらの小さな実生も。ピンク色の花を付けたイ



ワウチワ、ヤマホトトギスの野草も。途中で石ノ鼻から山々の連なりを眺望する。まだ所々峰々に雲がかかっている。また鉄梯子を伝って上へ上へと向かうと奥駈道に出合う。左へすぐに大普賢岳山頂だ。山頂にはマンサクやシロヤシオ、リョウブ、カマツカなどの灌木。三角点の標石の土被り 40cm ほど風雨で浸食され剥き出しに。

皆で記念撮影の後、昼食。Kさんが足が攣りそうで調子よくないとのこと。リーダーとサブリーダーが話し合っ別れて行動するのはよくないので、全員下山することに。行動計画がそうと決まれば今来た道を引き返すのみ。ハルゼミの声響くなか、ゆとりをもって下山しているうちにKさんの足の調子もよくなってきたので、小普賢岳、日本岳、和佐又山の三山を踏破しながら帰ることになり楽しい山旅となった。(記:前田良作)



2024年度 第2回運営委員会議事録

【日 時】2024年5月6日（月）15:30～17:00

【場 所】美しヶ丘集会所

【出席者】永井・亀高・野路・上田・杉森英（記録）

議事内容

1. 西大和山の会 山行規定の見直し

最近の山行で体調不良者が出たこともあり、山行中に負傷者や体調不良が出た場合の対応について協議し、山行規定を一部見直すことにする。修正点は黄色マーカー部分です。

第10条 山行メンバーの負傷や体調不良等により山行の継続が困難と判断した場合及び山行中に事故が発生した場合は、原則、その時点で山行を中止する。リーダーはサブリーダーと協議して救助策を検討し、二重事故を防ぎ、全員安全に下山できるよう配慮する。

第13条 本会は営利を目的としない同好会である。会員は自らの責任と判断において山行に参加するものであり、自己責任の原則を理解すること。また、会員はこのことを家族に説明し、予め理解を得ておくこと。

2 例会山行は会として実施する山行であり、本会、山行リーダー及びサブリーダー、山行メンバーは以下の範囲での責任を負う。山行における「責任」について以下に記載するが、ここに言う「責任」とは、いかなる意味においても法的責任や賠償責任を指すものではない。

① 本会の責任

（省略）

② 山行リーダー及びサブリーダーの責任

山行リーダーは当該山行の計画を立案し、山行を安全に遂行するため、本規定に従って行動する。山行に当たってはメンバーの状況を常に把握するよう努め、適宜サブリーダーと協力して安全確保に努めること。

なお、事故及び万一死亡事故が発生した場合においても、あくまでも参加者個々の自己責任であり、山行リーダー及びサブリーダーは法的責任や賠償責任を負わない。従って、リーダー及びサブリーダーの明らかな判断ミスや重大な誤った行動指示があった場合以外はリーダーの責任は問わない。

③ 山行メンバーの責任

（省略）

2. ハイキング・リーダーの養成

年4回の室内例会時に、全員で「ハイキング セカンド・ステップ」を読む。

3. 「安全カード」の作成

「安全カード」を作成し、山行に携帯する。「安全カード」には各自の連絡先や事故が発生した時の対応などを記載する。運営委員会で、記載内容を検討のうえ、臨時総会に諮る。

4. 夏山に向けての岩稜訓練

奈良労山 杉川氏にロープや安全カラビナを使った岩稜訓練の指導をお願いする。日程は未定。

以上

西大和つうしん

第480号（2024年7・8月号）

2024年6月29日発行

発行責任者 永井章夫

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>